

(仮称) 水際線まちづくりコンセプトプラン(素案)



臨港パークから山下公園、そして山下ふ頭へとつながる水際線は、まちと海が近く、美しい港の風景や夜景、音楽アリーナ、観光・商業施設など、多彩で横浜らしい魅力が集積しています。

こうした水際線の多彩な観光資源の魅力の磨き上げと、「横浜駅周辺」や「関内駅周辺」等のまちづくりを連動させ、水際線とまちなかを結ぶ回遊軸を強化することにより、世界中から注目され、にぎわいがあふれる都心臨海部に発展させていきます。

そのために、水際線の目指すべき姿やその実現に向けたまちづくりの方向性、具体的な整備内容等をまとめたコンセプトプランを策定し、市民・事業者のみなさまと共に、『世界に誇れる水際線』をつくりあげていきます。

## 目次

- 01 水際線とは
- 02 水際線の魅力
- 03 水際線まちづくりの目指す姿
- 04 まちづくりの進め方
- 05 まちづくりのコンセプト
- 06 整備の方向性
  - －水際線の5つのエリア
    - 1 臨港パークエリア
    - 2 ハンマーヘッド周辺エリア
    - 3 赤レンガエリア
    - 4 象の鼻エリア
    - 5 山下公園エリア
  - －5つのエリアのつながりの強化
    - 1 照明
    - 2 水際線ルートサイン
  - －水際線とまちのつながりの強化
    - 1 横浜駅～臨港パーク
    - 2 みなとみらい駅～臨港パーク
    - 3 結節点サイン・矢羽根サイン





